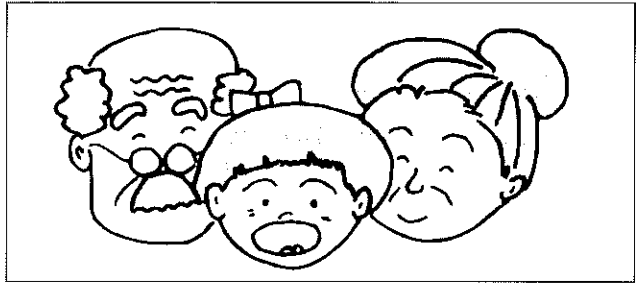


社

協

だより



金婚祝の申請お済みですか？

社協では、婚姻50周年をお迎えのご夫婦に祝詞と記念品をお渡ししお祝いいたしております。

右の写真は、昨年の越生町敬老会にて、本会新井会長より川口晴雄様・倫枝様ご夫妻（写真右）、続いて落合勝義様・敏枝様（写真左）へ顕彰を差し上げる様子です。

今年該当されるご夫婦や、すでに婚姻50周年をお迎えのご夫婦は、お忘れなく、社協までご申請ください。



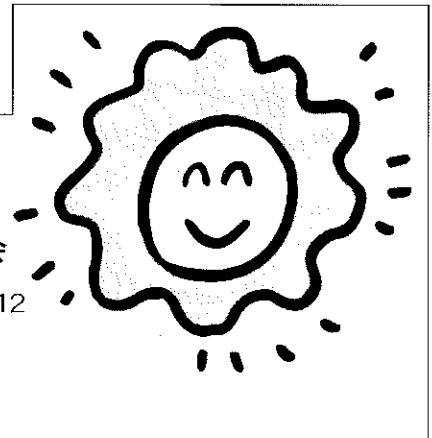
金婚夫婦のお祝いをいたします。

<今年度の該当要件>

- ◎ 昭和38年9月16日から昭和39年9月15日までに婚姻届を提出されたご夫婦
- ◎ 1年以上前に越生町に転入していて、すでに金婚を迎えていて、まだ顕彰を受けていないご夫婦
- ◎ いずれの場合も、ご夫婦ともに9月1日現在にご健在であることが要件となります。

<申請方法>

- ◎ 戸籍抄本（1部）を社協窓口まで直接ご提出ください。
- ◎ 申請締め切り日は8月8日（金）です。



発行：社会福祉法人 越生町社会福祉協議会

〒350-0416 越生町大字越生908番地12

TEL 292-2977

FAX 292-5616



この社協だよりは再生紙を使用しています。

みなさまの参加協力に感謝～昨年度の社協事業報告～

みなさまからご協力をいただいた会費やボランティア参加等によって以下のとおり地域福祉を推進することができました。また、越生町や埼玉県の受託事業、介護保険事業も実施し町内にお住まいのみなさまの暮らしを多面的に支援させていただけるように取り組んでまいりました。()内は平成24年度対比です。

<在宅福祉サービス>～自宅での暮らしの支えに～

給食サービス 配食総数2,439食(20%増)

業者・ボランティアによる見守りを兼ねて配食

※町委託分と社協会費財源分の合計数

理容サービス 4名利用12回(3回増)

理容店のご協力で、外出困難な方の自宅へ出張散髪

車いす貸出 40件(15件増)

介護保険等のサービスを受けられない方へ貸出

越生地域支え合い事業 利用会員75人(142%)

ボランティア会員38人(109%)

総派遣時間725時間 家事援助・外出援助・話し相手等の有償ボランティア

<地域福祉事業>～見守りの輪と社協の相談援助～

ふれあいいきいきサロン 27団体実施(増減なし)

地域の見守りを目的とした茶話会・イベント等を支援

ふれあいルーム 延べ861人参加(453%)

協力ボランティア延べ282人(512%)

水曜日の午前と午後 ミニデイサービス

心配ごと及びなんでも相談所

46件新規相談援助(12%増)

法人後見事業 4人利用(2人増) 社協が成年後

見人等として財産管理と身上監護を実施

福祉サービス利用援助事業

“あんしんサポートネット” 5人利用(2人増)

日常的な金銭管理・手続き援助・見守り等

福祉資金貸付 15件貸付(10件増)生活困窮者へ緊急的貸付

生活福祉資金貸付 1件(1件増)

母子世帯へ教育支援資金・就学支度費貸付

金婚祝 金婚夫婦へ記念品13組(6組減)

<ボランティアセンター>～社協の事業の源です～

ボランティア需給調整

ボランティアニーズ31件(14件増)

活動人数年間延べ967人(267人増)

ボランティア登録

個人54人・団体7団体(4人増)

ボランティア団体支援 5団体(増減なし)へ補助金

交付し企画運営を支援

ボランティア活動保険加入

109人分の保険料補助(7人増)

登下校時見守りボランティア 20人活動(2人減)

ボランティア入門講座 新規受講者8人(増減なし)

ボランティアセンターだより発行 年6回世帯配布

<福祉教育事業>～将来を担う越生の児童・生徒へ～

社会福祉協力校事業 町内小中学校へ補助金を交付し児童・生徒が地域福祉を体験・学習できるように支援

越生小学校 ミニボランティア講座(14人アイマスク白杖体験)

梅園小学校 ミニボランティア講座(5年生23人が車いす体験・6年生21人がアイマスク白杖体験)

越生中学校 総合学習支援(3年生116人がアイマスク白杖体験・福祉講話・車いす体験・障害をお持ちの方との交流)

町内高等学校 寄付・募金ボランティア等協力

町内高等学校 寄付・募金ボランティア等協力

越生中学校 総合学習支援(3年生116人がアイマスク白杖体験・福祉講話・車いす体験・障害をお持ちの方との交流)

越生中学校 総合学習支援(3年生116人がアイマスク白杖体験・福祉講話・車いす体験・障害をお持ちの方との交流)

越生中学校 総合学習支援(3年生116人がアイマスク白杖体験・福祉講話・車いす体験・障害をお持ちの方との交流)

町内高等学校 寄付・募金ボランティア等協力

<広報活動>～住民参加と地域福祉を進めるために～

社協だより発行 年6回世帯配布

ホームページ管理 インターネット上のホームページをリニューアルし社協活動の紹介を実施

<介護保険事業>～介護保険サービスを受けながら、安心して在宅生活を送れるように～

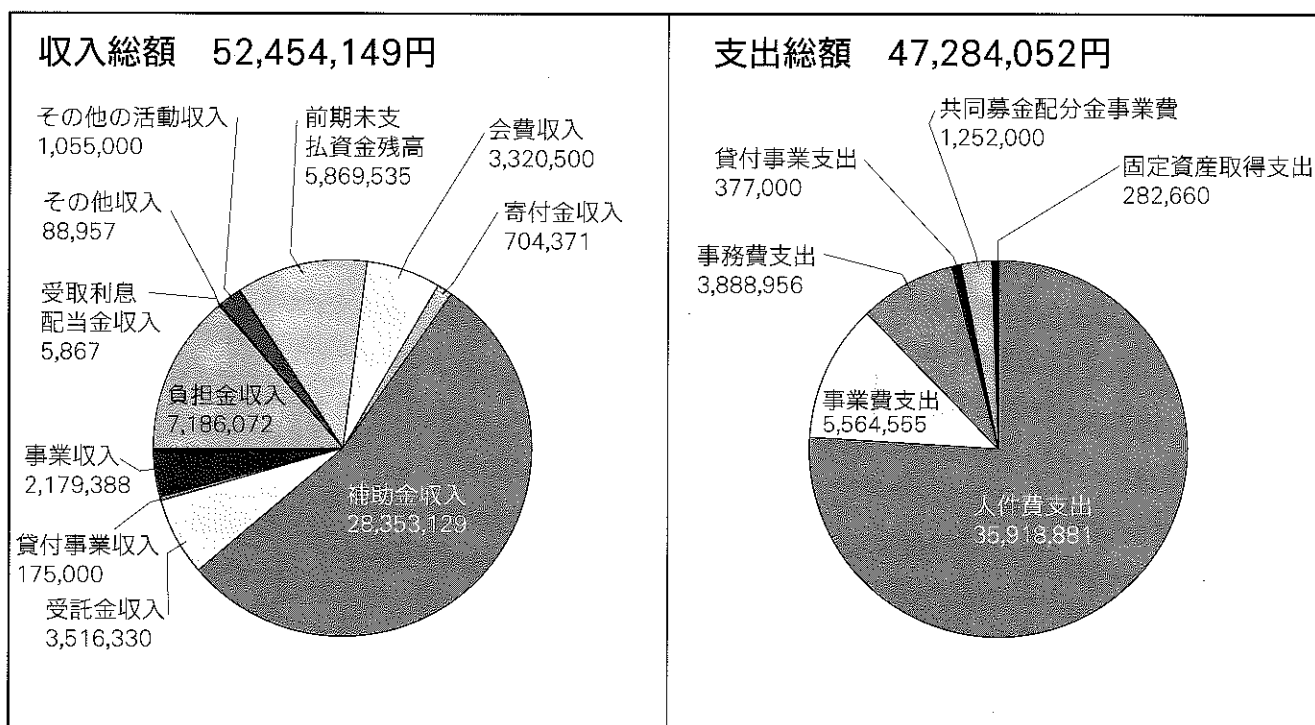
居宅介護支援“ケアマネジャー” 居宅介護計画(ケアプラン作成):802件※予防分含む

訪問介護“ヘルパー” 延べ594人利用※予防分含む

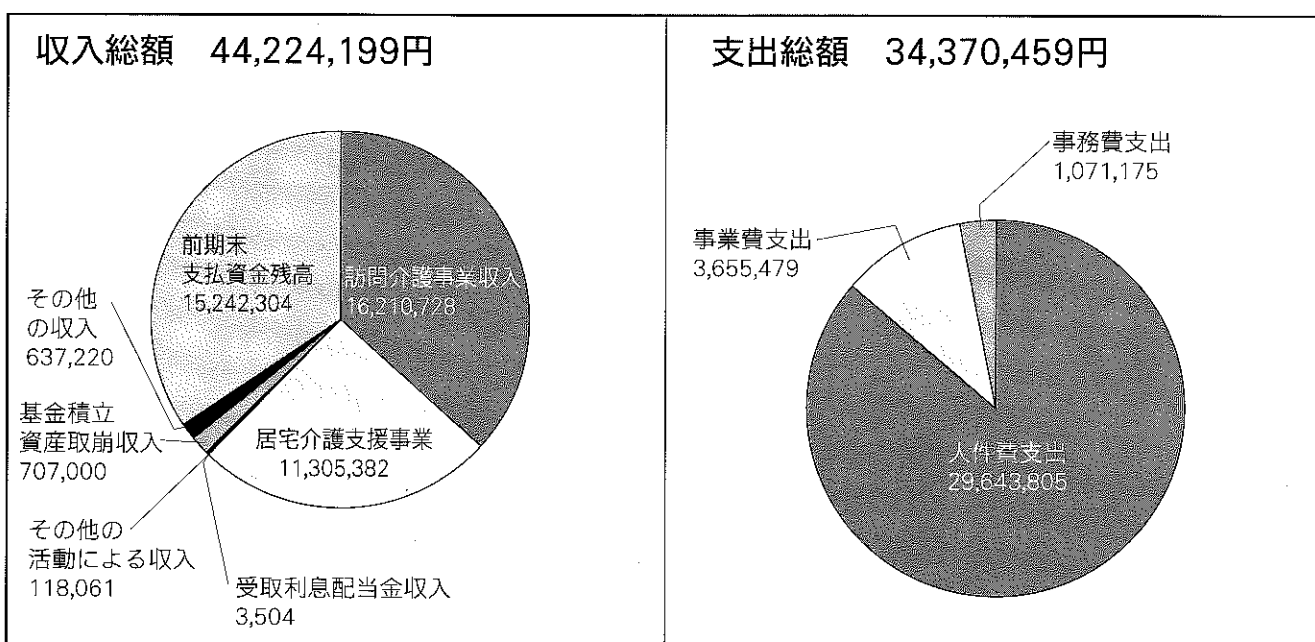
平成25年度決算報告

みなさまからご協力をいただいた会費収入は、主には前ページに掲載の給食サービス(火曜、水曜、第2・4・5木曜、金曜日分)、車いす貸出、理容サービス、ボランティアセンター、福祉教育事業、相談援助業務を中心とした地域福祉事業の財源として活用させていただきました。また、寄付金収入、サービス利用者からの利用料である負担金収入の他、補助金収入や共同募金配分金収入、受託金収入等を元に地域福祉事業を行いました。地域福祉事業支出では、人件費支出が多くの割合を占めますが、行政からの補助金や事業受託金を充てております。

<平成25年度地域福祉事業決算報告>



<平成25年度介護保険事業決算報告>



※収入支出差額については、各事業の次年度繰越金となります。また介護保険事業については繰越金の中に約3ヶ月分の事業運営資金の確保しております。

『在宅介護者リフレッシュ事業』参加者募集!

目的： 自宅で高齢者や病气療養者を介護している家族介護者の方を対象に慰労を目的とした事業です。(埼玉県内6地区を対象に旅行を計画実施)

主催： 公益財団法人さいしん福祉財団

日時： 10月16日(水) 午前7時30分 越生町中央公民館出発
10月17日(木) 午後6時50分 越生町中央公民館到着予定

内容： 阿賀野川ライン下りや寺泊での買い物及び介護講座を予定

宿泊先： 新潟県月岡温泉『ホテル華鳳』

参加者： 越生町内の在宅での介護者先着12名
毛呂山町・鳩山町の介護者等合わせて45名となる予定

参加費： 無料

また、本旅行のためにショートステイ(デイサービス)を利用される場合、最長4日間の利用者負担分(最高12,000円)の費用は主催者が負担。※普段どおりのショートステイ(デイサービス)利用で済む方の費用負担はできません。

参加申込み・お問い合わせ

7月14日(月)～8月1日(金)まで受付
越生町社会福祉協議会へご連絡ください。



ふれあいの“わ”

平成26年2月1日から6月10日までの間 順不同

関口 直枝様
30,000円

平成25年度こうねん大学
カラオケクラブ 一同様
30,015円

好友会 代表 市川 八良様
35,000円

匿名様
10,000円

上記のみなさまよりご寄付をいただきました。この寄付金は越生町内の地域福祉事業に大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

ふれあいルーム新規参加者大募集中！

～支え合いまちづくり事業～
越生町からの受託事業です



6月20日（金）午後1時～4時の間、ふれあいルームにて“メイク講座”を開催しました。当日は「年を重ねても、やっぱり綺麗でいたい！」と大勢の方にご参加いただきました。

井藤由紀子様にご講師（ボランティア）としてご協力いただきました。ありがとうございました。第2弾以降も企画しております！

参加された鹿下にお住まいの有田美代子さんからの感想です。「自己流では難しい眉毛カットやアイシャドウ

の仕方も教えてもらえ、みんなで雑談しながら本当に楽しかった。また、こういうイベントを増やして欲しい。」

ふれあいルームは、概ね60歳以上のお元気な皆様の活動拠点です。第5週を除く平日10時～正午、午後1時～4時オープン。イベントは水曜日の午前中と、今回のメイク講座のように時どき午後も開催します。イベントは要申込で満員となる場合がございます。申込多数の場合、参加実績のある方を優先させていただきますので予めご了承くださいませよう願いたします。参加費は1ヶ月100円、詳しい内容は、ふれあいルームまたは社協までお問い合わせください。

ふれあいルーム 越生町黒岩259-1 電話049-277-2220

災害救援ボランティアセンターをご存じですか？

約3年前の東日本大震災、直近では越谷市などを襲った竜巻被害など、震災や風水害など、様々な形で私たちの暮らしを脅かす災害が発生しています。災害発生直後は、警察や消防、時には自衛隊などの力を借りて、人命救助優先の活動が行われますが、発災後数日から1週間程度経過すると、支援の形は人々の「生活」を取り戻すための「災害救援」活動にステージが移ります。



災害救援ボランティアの活動の様子(仙台市)



平成23年6月、仙台市宮城野区に設置・運営された災害救援ボランティアセンターでの様子。

がれきの片付けや家屋内の片付け、非常炊き出しなど、災害救援ボランティアの活動は多岐に渡ります。

本会においても、昨年度、風水害時における災害救援活動マニュアルを策定いたしました。非常時に躊躇無く活動するためにも、策定しただけではなく訓練等を重ね、有事に備える体制を整えていきます。

ボランティアセンターより

平成26年度ボランティア入門講座開講しました!!

6月8日（日）に越生町ゆうがく館にて平成26年度ボランティア入門講座が開講いたしました。

ボランティア入門講座第一回目は、「社会福祉協議会とは？」と題して社会福祉協議会の構成や成り立ちと同時に、越生町社協の実施している事業を学びました。生活に困っているご高齢の方を想定した事例検討では様々な意見が出され有意義な時となりました。



ボランティア入門講座では、年間通して地域福祉について学んでいただくと同時に、個々に興味のある様々なボランティア体験をしていただき、今後の活動を広げていただくお手伝いをいたします。

次回は、「ボランティアとは何か?」「越生町のボランティア」について学びます。

朗読やまぶきの会

元アナウンサーによる朗読体験講座参加者募集

内 容：美しい日本語を学び、楽しく朗読をしてみませんか? 「朗読とはなにか」という基礎から「表現技術について」という発声練習などの技術面までお話を聞くことができます!! 誰でも参加できる初心者向けの内容です。

講 師：庄野輝子氏（元NHKアナウンサー）

日 程：第一回 平成26年8月30日（土）

第二回 平成26年10月4日（土）

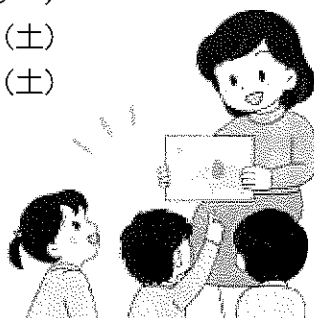
時 間：13:30～15:30

場 所：やまぶき公民館 会議室

定 員：10名

受 付：7月末

参加費：無料



朗読やまぶきの会とは、読み聞かせや、町広報誌・社協だよりをテープに吹き込み町内の視覚障がいの方にお渡ししているボランティア団体です。